

# かみ議会 だより

令和5年12月定例会



マレーシアの学生と交流  
村岡中学生

今月のトピック  
委員会報告

の情報はこちら



香美町議会



# 新年あけまして おめでとーございます



議長 岸本 正人



祖岡から臨む蘇武岳の朝日

町民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、議員一同心よりお慶び申し上げます。

昨年は数年来猛威が続いたコロナ感染症でしたが、5月より「5類」に分類されました。入院勧告や外出自粛要請はなくなり、景気回復も徐々に進むのではと期待しましたが、物価上昇が歴史的な高水準となりきびしい一年だったと思います。

本年は前向きな希望にあふれた新たな年になるように、皆様、町行政、町議会が一緒になって、頑張るべきではないと思います。町議会は昨年5月より、新体制となりました。引き続き、皆様とより近い議会をめざし、改革をさらに進めます。皆様はよくご存じとは思いますが、議会は二元代表制の一翼を担う機関です。町当局とは適度な緊張関係を保ち、是非々の対応をします。そのうえで皆様の要望・提案に耳を傾け、

住民の福祉の向上、安心安全をもたらす施策に資する政策の展開を、町当局に働きかけ、実現するよう最大の努力に努めます。議会では、議員の指名を「さん」付で、町当局へは「職名」で行い議場の一体化を図ります。

結びとなりますが、町民の皆様にとりまして、生活の安定と福祉の向上、経済の回復・発展となりますよう議員一同努力することを約束し、新年のご挨拶といたします。



議長

岸本 正人

副議長

小谷 康仁

議員

谷口 眞治

松岡 大悟

西川 誠一

南垣 誠

東垣 典雄

西谷 尚

田野 公大

藤井 昌彦

見塚 修

森浦 繁

上田 勝幸

吉川 康治

西谷 高弘

(議席順)



# 一般会計補正予算(第9号)及び特別会計の補正予算 5件が提案され、全件可決しました。

## 一般会計

補正予算(第9号)

### 質疑

問 二十歳のつどいの時期の検討をされたのか。  
答 (生涯学習課)  
対象者が集まりやすい場所と日程にしています。

問 マイナンバーカードの振り仮名は必要なのか。  
答 (町民課)  
マイナンバーカードが振り仮名の情報がないため、戸籍や住民票などの記載事項に氏名の読み仮名を追加する法改正が行われたためです。

問 台風7号の被害道路緊急事業の内容は。  
答 (建設課)  
緊急小規模工事で、土砂撤去や倒木の処理などです。

問 シカ緊急捕獲拡大事業負担金精算受入金とシカ緊急捕獲拡大事業負担金の減額内容は。  
答 (農林水産課)  
兵庫県からの確定額が翌年の9月以降になるので差額が生じ減額補正をするものです。

問 地域伴走支援体制整備業務委託料の減額は。  
答 (企画課)  
対象事業が補助対象にならなかったことと予定していた職員の雇用ができなかったためです。

問 矢田橋と山手若松線の開通式をいつ行い、どの様にするのか。  
答 (建設課)  
式典は年度末に行い、矢田橋ではオーブリングイベントとして音楽の演奏を予定しています。

問 山手の区画整理された土地で地図混乱があるのはなぜか。  
答 (防災安全課)  
区画整理した地内でなく地域防災拠点施設建設予定地の北東斜面の山林樹木伐採の確定調査のためです。

問 統廃合する幼稚園の備品搬出費用がないのはなぜか。  
答 (教育総務課)  
備品が沢山ないので自前で持っていくことができるからです。

問 職員給与引き上げは賛成するが、議員、町長と特別職の期末手当引き上げには反対。個人情報漏洩が相次いでいるマイナンバーカードの推進予算には

### 討論

#### 反対討論

谷口 眞治 議員  
職員給与引き上げは賛成するが、議員、町長と特別職の期末手当引き上げには反対。個人情報漏洩が相次いでいるマイナンバーカードの推進予算には

賛成できない。

賛成多数で可決

国民健康保険事業特別会計

補正予算(第3号)

全員賛成で可決

介護保険事業特別会計

補正予算(第2号)

全員賛成で可決

公立香住病院事業企業会計

補正予算(第2号)

### 質疑

問 変更となった患者給食業務委託先と委託料の増額はなぜか。  
答 (公立香住病院)  
日清医療食品です。現在の給食単価が50円増額したと固定費の人員費が増えたから

から直接神場送水ポンプ場に送り、神場配水池から新設する排水管で猪之谷配水池に送ります。

全員賛成で可決

水道事業企業会計

補正予算(第3号)

全員賛成で可決

下水道事業企業会計

補正予算(第3号)

全員賛成で可決

### 質疑

問 猪之谷砂防堰堤工事に伴う水の流れがどのように変わるのか。  
答 (上下水道課)  
猪之谷送水ポンプ場





# 条例改正

## 12議案が提案され、すべて原案通り可決しました

香美町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

### 質疑

問 期末手当の引き上げ額を伺う。

答 (総務課)

期末手当増額分は、議長3万5310円、副議長2万6070円、委員長2万4090円、議員2万3540円です。

### 反対討論

南垣 誠 議員

物価高、燃料高で町民が苦しんでいる中、人事院勧告に従い増額するのはいかげなものか。使い道の示される政務活動費が上がるのならわかる。また、議員

定数を削減した後の増額ならわかるが、それも含めず期末手当の増額だけを行うのはいかがなものか。

### 反対討論

谷口 眞治 議員

本条例改正は議員の期末手当を0.1ヶ月分引き上げるものです。町民の暮らしは、長期の経済停滞と暮らしが困難な上に、物価高が襲い深刻な打撃を受けています。

尼崎市や西宮市では、市議の期末手当増額を見送っています。こんな時に議員自らの期末手当を引き上げるなど、到底町民の理解は得られません。

### 賛成多数で可決

香美町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する

条例を定めることについて

### 質疑

問 期末手当の引き上げ額を伺う。

答 (総務課)

期末手当増額分は、町長8万2720円、副町長6万7760円、教育長6万2040円、病院事業管理者5万7860円です。

問 県下の自治体で、引き上げを見送った自治体は把握しているか。

答 (総務課)

調査しておらず、把握していません。

### 反対討論

谷口 眞治 議員

本条例改正は特別職の期末手当を0.1ヶ月分引き上げるものです。

町民の暮らしは、長期の経済停滞と暮らしが困難な上に、物価高が襲い深刻な打撃を受けています。芦屋市や尼崎市では、特別職の期末手当増額を見送っています。こんな時に特別職自らの期末手当を引き上げるなど、到底町民の理解は得られません。

### 賛成多数で可決

香美町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例を定めることについて

### 質疑

問 会計年度任用職員の勤勉手当の支給率と支給時期は。

答 (総務課)

支給率は一般職と同様、支給時期は令和6年度以降です。

問 職員組合との合意はできているか。

答 (総務課)

職員組合と話し合いを行い納得してもらっ

ています。

### 賛成多数で可決

香美町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

### 質疑

問 職制を一部見直しする事で、意思決定のスピードが早くなるのか。

答 (副町長)

意思決定のスピードアップには、大きくは繋がりません。

問 一部職名の変更は、町民にとって分かりやすい変更か。職員にとって分かりやすい変更か。

答 (副町長)

町民、職員両方に分かりやすい視点での職名の改正です。

問 役職4級の改正により、ラスパイルズ指数はどう変化するのか。

答 (副町長)

ラスパイルズ指数は上がります。

### 討論

### 賛成討論

南垣 誠 議員

職員から意見聴取し、しっかりと議論していること。又、総括係長昇進時に4号級特別昇給の措置もされており、責任が増えた分もしっかり手当されています。しかし、引き続き検討事項は早急に解決するべきと考える。

### 賛成討論

東垣 典雄 議員

一点目に、職制の一部改正に際し、職員の意見を十分聞いて行っていることが認められる。二点目に、4級主幹級の幅が広く責任の所在が分かりにくいことから、係長と総括係長に分けて責任の所在をわかりやすくする。また、役職定年者を4級に専門官として新たに加える。非常に熟慮されていると考える。係長と総括係長に給与の差を付け、差別化を図り意



識とモチベーションの向上を図る等これまでの課題の解決に向けた改正である。職員の待遇改善に繋がる改正だと確信している。

全員賛成で可決

香美町又は国若しくは県が行う事業の受益者分担金徴収条例の一部を改正する条例を定めることについて

### 質疑

問 附則で令和6年4月1日から施行とあるが、その理由は。

答 (防災安全課)

令和5年度は既に受益者分担金を頂いているため、令和6年4月からの施行とします。

全員賛成で可決

## 追加議案 「物価高騰の影響を抑制」

主に子育て世代負担軽減と物価高騰による町民への影響を抑制するための支援事業を審議し、可決しました。

一般会計

補正予算(第10号)

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援追加給付金事業費について

電力・ガス・食料品等価格高騰の影響が特に大きい住民税非課税世帯等に対し、1世帯当たり7万円を追加支給。

### 質疑

問 対象を非課税世帯等から更に広げる検討はなかったか。

答 (福祉課)

国は今後メニューを広げていく方向ですが、今回、全町民対象に商品券の配布事業等もあり、特に検討はしていません。

問 何故、職員の時間外を増やし対応するのか。

答 (福祉課)

対象世帯の抽出が煩雑であり、正確に早く支給するため、パソコンに精通した職員が通常業務以外の時間外で対応します。

物価高騰対策応援券配布事業費について

物価高騰対策として町民1人当たり1万円商品券配布。

問 対象を非課税世帯等から更に広げる検討はなかったか。

答 (観光商工課)

特に検討していませんが、今後、動向をみて必要であれば検討します。

問 ①当該事故車のドライブレコーダーを確認し、事故の要因は明らかになったのか。

答 (町民課)

①前方しか映っておらず要因はわかりませんでした。安全対策に繋げていきます。

問 ②保険の額は280万円ですが、新車購入資金に充当しますか。

答 (町民課)

③業者に車の破損について保険料を頂いており負担追加を求めていることはありませんが、パッカー車が3台から2台になり業者の方で負担が増えるようであれば相談します。

問 民間保育所「ヒカリ」の事業内容。

答 (こども教育課)

町内の民間保育所等に対し、高騰している光熱費等について一次支援金を支給。

問 個人宅へ訪問して保育するベビーシッター型派遣事業です。

答 (こども教育課)

町内の民間保育所等に対し、高騰している光熱費等について一次支援金を支給。

### 討論

賛成討論

南垣 誠 議員  
給料、年金が上がらない中、燃油等、物価高騰、子育て世代は非課税世帯より苦しい。

全員賛成で可決

従って国の所得制限施策には疑問があり、撤廃し、平等に支援すべき、また、商品券も小売業、ガソリンスタンド以外にも広げるべき等課題はあるが、一般財源を投入し商品券を1万円拡充したことを評価する。



止まらない物価高騰



10月26日  
第143回臨時会

受益者負担を求める当局案に対し、  
修正動議が提出されました

令和5年度香美町一般会計補正予算(第8号)

主な補正内容  
台風7号による災害(農地及び農業施設)災害復旧事業費

質疑

問 村岡区和田の災害ゴミ集積、処分状況は。

答 (村岡地域局)  
香美町建設業組合の南支部と協議をしており、運び出しは完了し、撤去の段取りを今進めています。

問 村岡区和田の裏山の土砂崩れの関係で、県と協議されていると思うがその対応は進んでいるのか?町の支援も必要ではないか。

答 (村岡地域局)  
県土木がボーリング調査を完了しており、次の工事に向けての準備に入っています。

問 5年現年災災農地及び農業用施設災害復旧事業費分担金について、4990万円の補正だが、分担金の徴収農家数と平均の負担額はいくらか。

答 (農林水産課)  
今の段階で受益戸数がはっきりしてないところが現状ですが、今の時点で610戸で単純に割り戻しますと、8万1800円ということです。

問 復旧工事の負担があれば工事を見送るとの声もあるが、荒廃農地化が一気に進むのではないか。

答 (町長)  
こういうことで荒廃農地が進んでいく、そうならないために今全力で役場の職員あげて対応をしています。

賛成多数で可決

修正動議

(谷口 眞治 議員 他1名)

台風7号により、香美町全域の農地365件、農業施設245件など多くの被害が発生し、国の激甚指定を受けて、農地等の災害工事を進めようと、町長は受益者分担金4990万円を徴収する令和5年度一般会計補正予算第8号を提案しています。

農家の多くは、今年の猛暑により米が不作で、来年以降の耕作に不安を抱えております。その上に、台風7号の被害によりダブルパンチを受けています。災害復旧工事をどうするか、負担があれば復旧復興を諦めざるを得ないという声も多く聞きます。それだけでなく、耕作放棄水田が目立ち、農業の自給率が低下が危惧されている昨今です。

討論

修正案賛成

森浦 繁 議員  
旧で来年度以降の持続できる農業支援が必要であります。台風被害の時こそ、財政調整基金を活用して災害復旧工事の分担金全額を減免し、来年度の耕作支援をしようとするものであります。

森浦 繁 議員  
今回の補正予算第8号では、農家の個人負担が発生します。負担をしてまで、農業を続けたくないと考えておられる農家の方もおられると思われまます。新たな耕作放棄地を作らないためにも、財政調整基金を活用し、負担を免除して復旧すべきです。

修正案 否決

令和5年10月臨時会/12月定例会

議案の審査結果 賛否が異なったものだけ掲載しています。

会議	議案番号	議案名	谷口眞治	松岡大悟	西川誠一	南垣誠	東垣典雄	西谷尚	小谷康仁	徳田喜代子	田野公大	藤井昌彦	見塚修	森浦繁	上田勝幸	吉川康治	西谷高弘	岸本正人
10月臨時会	100	令和5年度香美町一般会計補正予算(第8号)に対する修正案		×	×		×		×	欠	×	×	×		×			—
	100	令和5年度香美町一般会計補正予算(第8号)	×			×		×		欠				×		×	×	—
12月定例会	104	香美町議会議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	×			×				欠				×				—
	105	香美町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	×							欠				×				—
	115	令和5年度香美町一般会計補正予算(第9号)	×			×					欠			×				—



# 町政を問う!

## 一般質問

12月定例会での一般質問は11人の議員が町政全般について質問を行いました。



一般質問は、議員が町政全般について執行状況や将来に対する考え方など、現状方針を問うものです。

議員一人当たりの持ち時間は、町長の答弁を除き30分以内と決められています。

内容については、議員本人が執筆(要約したもの)を掲載しています。

議事録は、議会ホームページでもご覧いただけます。

### スキー教室の保護者負担軽減を 教職員で行うのが本来の姿



みなみがき まこと 議員 南垣 誠

冬の大事な授業の一つであるスキー教室。平日休めない保護者もいる中、負担軽減や、運動不

足からくる怪我のリスクを考え躊躇することも。外部委託や町職員の派遣などでコーチに当たっていただけないか。

#### 教育長

スキー教室の保護者コーチについてですが、各学校のスキー教室は、学校の教職員で行うのが本来の姿である。し



かし、学校の教職員では手が足りないために、親子スキー教室として、直接保護者に協力してもらったり、PTA行事として指導者として保護者の協力を得て実施しているのが現状です。予算がPTAにあるようでしたら、スキー学校に依頼して、指導者を確保している

学校もあると聞いています。

どのように指導者を確保するかは、学校の判断になります。町の職員として自主的にボランティアとして行くことはあっても、職務として派遣する考えは今ありません。しかしながら、本町でも、本年度から段階的に導入していますコミュニティースクール制度などで、各校の実態や実状に応じて、地域の協力を仰ぐことを協議していただきたいと思います。





間伐を待つ杉林



この建物、何に、どう使う

県の外郭団体「ひょうご農林機構」の主要事業である分収造林事業が破産状態と報道されている



ひがしがきのりお 東垣 典雄 議員

### 分収造林事業の今後はどうなる 木材生産への影響を注視します



本町でも分収造林を行っておりその影響を伺う。  
①分収造林の経過と現状  
②森林施策への影響は

#### 町長

①分収造林事業は森林所有者と機構が締結した分収契約に基づいて機構が造林・保育を

実施主伐して収益が出れば利益を分配するものです。  
事業開始から約60年の歴史があります。  
町の森林面積の約1割3043haが分収造林です。分収造林事業において多額の債務があるとの記事に戸惑う部分もありますが県及び「ひょう

ご農林機構」から特段の説明はありません。  
②町内森林資源の保全、活用について「香美町循環する百年の森づくりビジョン」を策定して取り組んでいます。  
町の木材生産への影響は現時点では不明ですが状況を注視しながらビジョンの達成に向けて各種施策を展開します。



みづかおさむ 見塚 修 議員

### 廃校施設の活用をどうする!! 広く要望、意見を伺い議論します



少子化に伴い、全国的に学校の統廃合が行われ、廃校施設（土地・建物）の利活用が問題化されている。  
本町では既に香住第二中学校が廃校となり、3月末には奥佐津小学校と

佐津小学校が、その後も5校の廃校が予定され、まちの大きな課題となっている。  
まちの活性化に結びつけるそれらの利活用を、どうするのか問う。  
①現在までの取り組み  
②今度の取り組み計画

で検討しましたが、具体的結論に至っていません。  
②引き続き廃校となる学校の利活用について、議論することとしています。  
学校再編検討委員会で各校区の要望や意見を伺っていますが、今後も広く一般や国の廃校バンクへの登録、民間事業者とのマッチング等を図っていくこととしていきます。





間に合う?作付け!!

台風7号は町全域に甚大な被害をもたらした。多くの農家の方々から令和6年度の作付けができて



ふじい まさひこ 藤井 昌彦議員

## 農家負担の逆転現象解消を 国の制度以上の軽減はしません

るのか、受益者負担がどうなるのか不安な声を聴く、そこで

①農地、施設の復旧見込みと来年度の作付けに間に合うのか  
②激甚指定を受け、小災害とそれ以外の災害での負担金の逆転現象(額の大きい災害より小さい災害の方が負担額増)が起

こる可能性があり、差額を縮小してはどうか

**町長** ①12月7日で農地、施設の災害査定を終え、年内に激甚災害補助率の申請を行い農地及び施設災害の早期復旧を目指す。作付けに間に合うよう町として遅滞なく進めます。

②国の制度に基づいた補助率で現時点では、差額の縮小は考えていません。

各農地については、農家の財産であるため、荒廃にならないよう自己保全をお願いします。

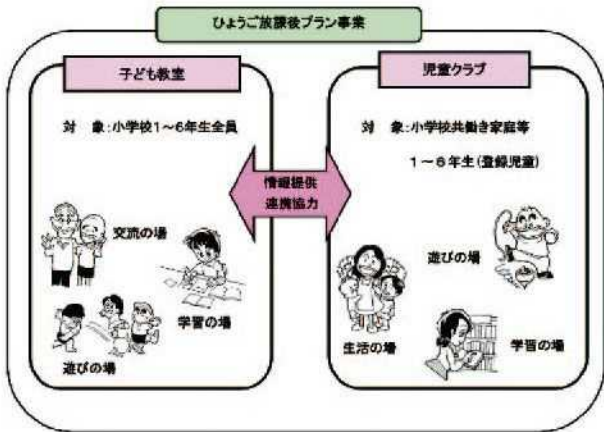
## 保護者の経済活動に寄り添う覚悟は

### 環境整備を推進しなければならぬと考えています

委員会として、どこまでの覚悟を持って寄り添う気があるのか伺う。

**教育長** ふるさとを担う子どもを育むまちを実現していくために、町の将来を担う子どもたちを育てる教育環境の整備と、保護者が安心して働けること

から子どもを預けることのできる環境の整備を推進していかなければならないと考えています。それに近づけていく作業は、既に検討しています。ただ、今一番ネックになっているのは、人材不足です。団塊の世代を迎えて、今はその後の世代に入ってきているため、非常に人が少なくなっています。放課後児童クラブも、希望者があっても支援員がいらないという状況であり、一生懸命、探しているのが現状です。できるだけ働きやすい環境をつくっていききたいと考えています。



ひょうごプラン事業(兵庫県 放課後児童クラブについてより)



よしかわ やすはる 吉川 康治議員

放課後児童クラブの開設で、今は募集しても人が来ない、開設時間が18時までで、19時までできない、送迎は基本的にできない、これらの課題もあるが、まず、保護者の経済活動に対して、教育





文化・歴史は貴重な財産!



急傾斜でカーブの多い笠波峠

御殿山の資料保存館や山名・文堂古墳の活用についてお伺いします。村岡には歴史的なもの



にしに ひさし 西谷 尚 議員

### 御殿山公園・山名・文堂古墳の活用を！ 基本計画に基づき肅々と進めます



が多くある。御殿山に資料館のような形で1つに集約し、しっかりと香美町村岡の文化や歴史なども示していくという姿勢が必要と考える。また、町政懇談会の場にて質問者から、将来的にも重要で貴重な資料があるとの発言もあった。現在、歴史的な資料が未管理の状

態にある。これを整理し活用することで、御殿山公園全体の有効活用が出来るかと考えるが。  
**教育長** 資料館の整備については入館者が増えたり、地域の歴史に興味を持っていただけるような仕組みづくりが、1ヶ所に集約する事で実現出来

るか検討してみたいと思います。又、基本計画がありますので、それに準じて肅々と進めています。今は、台帳整備を行い、見やすさや情報整理し、どこに何があるかなどを1冊にまとめる取組みを行っております。



こだに やすひと 小谷 康仁 議員

### 笠波峠の冬季バス通学の安全確保は スクールバス対応できるよう調整中



冬季の笠波峠は、事故や登坂できなくなった車両により通行停滞が発生することがあり、笠波トンネルが開通しました。開通後の路線バスは、笠波峠を通行しています。

兎塚小学校の児童はそのバスで通学しています。令和6年度には笠波峠に設置されている水の出る融雪装置は撤去されます。そうなる冬季の通学は安全が担保できなくなります。そのバス路線を使わなくても、安全に通学できる方法がないのか？

います。間に合わない場合は、兎塚小学校の日影の児童は臨時バス停を利用し、宿の児童はスクールバスで対応と考へ、調整を進めています。村岡中学校の黒田と日影の生徒は臨時バス停を利用し、宿の生徒はスクールバスで対応するよう調整を進めています。児童・生徒の負担を増やさないようにしていきたいと、今現在考えています。





補聴器ですてきな会話



ふるさとの魚料理実習



まつおか だいご 松岡 大悟議員

学校再編の計画が進んでおり、香住区1次再編、香住区2次再編、村岡区再編が計画されています。

### 学校再編後のふるさと教育あり方は 課題検討委員会で調整しています



各学校の校区が広がることで、ふるさとという概念が広範囲になり、薄れていくことを懸念するが、現行のふるさと教育と比較して、再編後はどのような手法でふるさと教育を行っていくのか。

教育長 ふるさと教育に關しては、校区は広くなりますが、香美町の将来を担う子どもたちが、変化の激しい地域基盤社会を生き抜きながら、ふるさとをいつも心の中に抱いているような人づくりを行っていくためには、不可欠な施策であると思っております。ですので、

学校再編によってふるさと教育に關しての方向性を変えることは考えていません。再編後の手法についてですが、教職員による課題検討委員会で調整を行っており、これまでに各学校が蓄積してきた教材を整理した上でカリキュラム編成を行っていくこととしており、詳細については検討を重ね、次の総合計画に反映させていただきます。

### 難聴高齢者の補聴器助成の創設を！

### 来年度予算で制度化を協議中です



たにぐち しんじ 谷口 眞治議員

支援の子ども医療費助成の所得制限の廃止②高齢化対策の高齢者の認知症リスク軽減の町単の補聴器助成制度創設③町民パスの予約制の見直し④JR香住駅の有人化⑤老人大学受講料無料化を進めるべきではないか。

町長 ①所得制限について、社会的公平性を図る観点から真に経済的支援を必要とする家庭を重点的に支援する施策で

合併後17年間で人口6545人減少、年間出生数65人、合計特殊出生率1.36、高齢化率42.1と人口減少、少子・高齢化が加速しており、少子・高齢化に対応する予算が求められている。①子育て

一定の線引きが必要であり廃止は考えていません。②町単独の難聴高齢者の補聴器助成については、来年度の予算編成で制度化に向けて協議中です。③町民パスの見直しについては令和6年10月に行う予定です。④駅の有人化はJRに要望中です。教育長 ⑤受講料の無償化は受講者に一定の受益があるので、考えていません。





放課後児童クラブ



保全と管理の作業道

学校再編後の放課後児童クラブの配置について伺います。香住区小学校等再編に関する説明会で



もりうら しげあき 森浦 繁 議員

## 放課後児童クラブの開設をぜひとも開設したいと考えております

佐津小学校区の開設が難しいとの説明がありました。放課後児童クラブは、通年利用者希望が5人以上で開設。令和6年4月以降佐津小学校区では5人以上あります。どのような理由なのか伺います。

教育長

佐津小学校む4

会場で開催した全ての説明の会場において、町内の放課後児童クラブで、退職等に伴い支援員、補助員が不足する恐れがあるため、支援員、補助員を募集していること。補充がなければ、開設できない放課後児童クラブが生じる恐れがある。スマイルさづを特定して開設



が難しいという説明をしたわけではないとあります。なお、11月末に取りまとめましたスマイルさづの来年度の通年の利用希望者は5人以上ありましたので、申請内容を審査し、家庭での放課後の保育に欠けると認められる方にご利用いただけるように、ぜひとも開設したいと今現在考えております。



にしやま たかひろ 西谷 高弘 議員

## 町保有の森林の保全と管理は自伐型林業の支援を検討します

町有林の面積と保全や管理はどうか。また、全国的に展開している自伐型林業を町保有の森林にも参入を考えてもいいのではないかと。

町長 町有林は約7867ヘクタールで町の森林面積の25%であり森林の持つ土砂災害防止、水源涵養など公益的機能を維持するために適切な管理が必要と認識し、ひょうご農林機構、北但西部森林組合に管理を委託している。自伐型林業は大規模経営では行き届かない部分をフォローできる可能性、

新たな林業就労機会の創出の可能性があることを踏まえ担当課の農林水産課に、自伐型林業に対する町の関わり方や支援について検討を指示しています。





## 人事同意案件

### 香美町監査委員



香住区香住

おかもと かずひこ

**岡本 和彦さん【新任】**

選任することに同意しました。

◆任期は令和6年1月31日から  
4年間

### 人権擁護委員



村岡区境

ひがしがき むつこ

**東垣 睦子さん【新任】**

法務大臣に推薦することに  
同意しました。

◆任期は令和6年4月1日から  
3年間

## その他こんな質問もしました

質問議員	質問項目
南垣 誠	まちの将来像「こどもたちに夢と未来をつなぐまち」について問う。(Part10) 「行政に出来る少子化対策は本当はないのか？」
	まちの将来像「こどもたちに夢と未来をつなぐまち」について問う。(Part11) 「子供たちの可能性に応える環境作り」
	気になる事聞いてみる町長編「公用車の安全対策について」
見塚 修	コロナ後とウクライナ情勢からの課題を乗り越え、活力あるまちづくりを求めて(Part3) (活力編その1) まちの人口減少状況の要因をどう捉え、その対策にどう取り組むのか伺う。
東垣 典雄	だれもがいきいきと輝けるまちをめざして策定された「第3次香美町男女共同参画行動計画」について問う。
吉川 康治	持続可能なまち実現に向けた取組について問う。 ～定住対策編～
小谷 康仁	高齢者福祉の取組について問う。
西谷 尚	観光の現状について問う。
	観光の更なる活性化の為のICT化活用と仕掛け作りの必要性について問う。
谷口 眞治	台風7号の災害対策について問う。
	人口減少、少子・高齢化の来年度予算について問う。
西谷 高弘	物価高対策について問う。
森浦 繁	会計年度任用職員の働き方について伺う。
	スクールバスの安全環境についての考えを伺う。



## 委員会視察 研修報告

# 3つの常任委員会が視察を終えて 町の課題の解決法を提言

### 「繋がりがつくる」しくみで 町の活性化を図る

総務民生常任委員会 委員長 田野 公大

総務民生常任委員会は、各課の予算と計画に基づき事業進捗状況を調査し、請願や香住病院企業会計を審査。香住病院の人工透析病棟改築見学や、台風7号による香美



ピワコの説明を受ける

町内の被害現場視察も行ってまいりました。研修では、滋賀県が導入し、県と滋賀県内の市町が協力して推進しているデジタル地域コミュニティ通貨「まちのコイン」(ピワコ)について学びました。

**まちのコイン「ピワコ」**  
スマートフォンアプリ「まちのコイン」は、地域コミュニティ通貨の新規概念です。市や店舗が提供する体験やボランティアに参加し、ポイントで「ありがとう」や「応援」が具体化。従来お金にならなかったモノ

### 廃校予定校舎の利活用

産業建設文教常任委員会 委員長 森浦 繁

2024年4月佐津・奥佐津小学校が香住小学校へ統合し、順次柴山、長井、余部小も続きます。村岡区の3校も再編の予定です。このことで空き校舎が、7校確実に



お客さんの手でプール清掃

生まれまします。そこで先進的に活用されている2つの全く異なる事例を調査研究しました。

**むろと廃校水族館**  
NPO法人日本ウミガメ協議会の提案で博物館、ミニ水族館、また地元の集会所や避難所高齢者の活動の場所としての利用希望により集落センターを併設しています。

○工夫のある運営  
魚の餌の販売機・プール掃除してもらいお金をいただく等

### 開かれた議会と議場配信システム

広報公聴常任委員会 委員長 南垣 誠

新しい議場配信システムの視察へ令和5年11月30日に大阪府太子町議会へ伺いました。

現在、ご覧いただいている議会の配信はなんと、家庭用ビデオカメラ



現在のカメラ

を再利用した手作りの配信システムなのです。とてもよく出来ていて感心するのですが、画質の悪さと、最近になって動かなくなったこともあり、最新の機器はどのような物かと視察してきました。

お伺いした大阪府の太子町は人口1万3000人ほどの小さなまちです。こちらでは令和5年3月から議場配信を始め、開かれた議会とデジタル化を推進しています。

議会の様子は町側と業者側の2カ所で保存され、どちらかに不具合があつ





高島市 今津ヴォーリス資料館にて

視察参加議員  
 委員長 田野 公大  
 副委員長 松岡 大悟  
 委員 谷口 眞治  
 西谷 尚  
 小谷 康仁  
 上田 勝幸  
 岸本 正人  
 議長

やコトが価値化し、楽しい体験を通じて地域の繋がりが増します。

得たもの感じたこと

地域コミュニティ通貨の導入により、関係人口増加や移住定住が期待され、若者の活躍機会が拡大します。つながりや助け合いの精神が育まれ、楽しみが増える一方で、県と市町、民間の連携が欠かせず、国や県の補助事業、財政的・人的支援が不可欠です。

【提言】

香美町は少子高齢化と人口減少に直面し、関係人口の増加や移住定住者の確保・人材育成が急務です。デジタル社会の中で新しい価値概念や町づくりツールが浮上しています。デジタルネイティブ世代の活躍を促進し、新たな町づくりシステムを導入することで、香美町の活性化を図り、多様に富み、持続可能な「元氣な香美町」を築くために取り組むべきです。



むろと廃校水族館にて

視察参加議員  
 委員長 森浦 繁  
 副委員長 藤井 昌彦  
 委員 西川 誠一  
 南垣 誠  
 東垣 典雄  
 見塚 修  
 吉川 康治  
 岸本 正人  
 議長

○地元品の活用  
 ○施設方針は、「楽しい所には、人が来る！」

淡路市のじまスコラ

淡路市の人口2005年合併時5万1508人、2020年4万1967人、「9541人減、転出者と転入者の差を示す「社会増減」が2020年に初めて増加69人」廃校になった小学校を再生し「食・農・学・芸」をキーワードに地域活性化に取り組んでいます。

【提言】

○目の前に統合があり、廃校も決定しており、すでに耐震化も完了している。早急に対象施設の利活用の準備を急ぐべき。  
 ○地域、住民、各層、移住者も含む意見収集を図り、香美町の地域資源「美しい山・川・海」を生かした利活用が求められる。  
 ○廃校してから利活用を考えるのは遅すぎる。早い時期に情報発信することが重要と結論とした。



太子町議会会議場にて

視察参加議員  
 委員長 南垣 誠  
 副委員長 西谷 尚  
 委員 松岡 大悟  
 小谷 康仁  
 藤井 昌彦  
 上田 勝幸  
 吉川 康治  
 岸本 正人  
 議長

でも映像をお届けすることが出来ます。また、パソコンやタブレット、スマホなどでも中継を見ることが出来、来庁して傍聴のみならず、どこからでも身近な端末で議会の様子を見ることが出来ます。

このようなシステムが一般的になるのだと改めて認識し、更新の必要性を感じる視察となりました。今後は導入の可否も含めてさらに検討しつつ、皆様に見ていただけるような仕組み作りと、

どう配信するかを考えていかなければなりません。また、それとは別に、

本誌の編集にあたり、より一層皆様にとって身近な議会運営を知るツールとなるよう、見やすさの向上や発行までのスピードを早める努力を引き続き行っていきたく考えています。



# この人ここにあり

村岡区  
大笹

## 村田 行信

MURATA YUKINOBUさん(ムッティー)

音楽講師  
ミュージシャン



### ◆なぜハチ北に移住？

私はミュージシャンや音楽講師、司会業などをフリーランスとして活動しており、京都市の西京極にリハースルスタジオを経営しています。エンタメ業界の繋がりの中で、2018年に『ハチ北ミュージックフェス』というイベントを紹介され、ハチ北を知りました。

音響システムのクオリティを担保するためにチームを組織する役割から始めましたが、地元の方々と連携してフェス運営を行う中で、仲間やスタッフに対するリスベクトが芽生えました。

また、私は元々好奇心旺盛な性格で30代後半には、どこか新しい場所での生活したいと考えていました。ハチ北で出会った山育ちの地元の人々の強さに感銘を受け、新しい環境での生活に憧れを抱き彼らから何か学べるかもしれないという気持ちもありました。

そして、『ハチ北ミュージックフェス』の運営に関して、まだまだやり

たいことがありました。

地元の若者が始めた小さなイベントが地域に多くの価値をもたらし、音楽的な体験を提供しています。

アーティストやファンがハチ北に引き寄せられ、スタップも地元だけでなく他の地域から駆けつけ、共にフェスを築いています。また、飲食ブースでは但馬牛など地元の魅力を楽しめます。



これらの交流により、異なる地域の人々がお互いの魅力を認識し、コミュニティが形成されています。個々の違いを認め合い、リスベクトを持つて関わることは、私が望む人間関係の在り方であり、面白さの源でもあります。

フェスの意義は、それ

を共有することにあると感じています。したがって、ハチ北に住むことで、より深く関わり、多くの人々をフェスに巻き込んで楽しむことができると思います。移住を決めたのです。

### ◆住み心地は？

便利か不便かで言えば、もちろん不便です……！ただ移住者の中には不便を楽しみに来ていたり、便利な中では気づかなかったことに気づきたかったりといったことを求めているりするものです。そういった意味で僕は住みにくいと感じるよりは面白がつて生活しています。

ただ僕の場合、そもそも家はフェスで知り合った方の紹介ですし、家の改修なんかフェスで知り合った地元の工務店の方にお願いして教えてもらっていたりと、やはり助けてくれる地元の皆さんのおかげだなとつくづく感じています。知っている人が一人もいない中で移住生活になると、また難しかった

んだらうなと思います。やはり人同士の関係性が最も重要なことだなと移住して再認識させてもらえました。



### ◆議会や行政に望むこと

過疎化対策と移住対策の強化です。住宅取得奨励金や住宅改修費助成金のような支援策を継続し、情報発信を強化して移住希望者に対するサポートを行ってほしいと考えています。特に、インターン移住者の多くがフリーランスであることから、事業者への支援情報をわかりやすく提供し、より手厚い支援を提供してほしいと思います。移住を検討する人々はまだまだたくさんいますので、そのサポートが重要です。

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本誌を手にとった皆さま、さりうれしい限りでございます。委員一同、皆様にとつて有益で興味深いコンテンツをお届けできるよう今年も取り組んで参ります。昨年はこの広報誌の編集行程の見直しなどに取り組んで来ましたが、議会終了後、できるだけ早く正確な情報をお伝えできるよう目標として取り組んで参ります。

今年も辰年です。辰は動物にあてはめると竜(龍)ですが、竜は十二支で唯一の想像上の動物になります。想像力を働かせ、大きな竜が空に昇っていく。そんな大きな夢を描ける一年にしたいと思っています。

読者の皆様にとつても、素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

### 広報公聴常任委員会

- 委員長 南垣 誠
- 副委員長 西谷 尚
- 委員 松岡 大悟
- 小谷 康仁
- 藤井 昌彦
- 上田 勝幸
- 吉川 康治